

サビエル生誕五百年



294

インドネシアという国

（インドネシアの三島①）

一九四五年八月、日本の無条件降伏で太平洋戦争は終結した。この戦争で日本軍はアジア諸国に侵攻したが、インドネシアもその中の一つである。

現在のインドネシア共和国の領土は一八〇〇年以降、オランダ領東インドとしてオランダが統治していた。二十世紀に入って民族独立の機運が高まり、一九二七年、スカルノが国民党を結成して独立運動が本格化した。日本は結果的にオラン

ダを追い出すことになり、独立運動も勢いづく。しかし日本の敗戦とともにに戦勝国となつたオランダが再び統治を始め、独立戦争が起きる。太平洋戦争が終結して四年後の一九四九年、インドネシア共和国の独立が実現する。

オランダとの独立戦争には、敗戦した日本軍の元兵士三千人も加わり、うち千人がこの戦争で命を失った。こうした経緯もあり、初代大統領のスカルノと日本の関係は良く、私

が若いころはスカルノの名前をよく耳にした。第三夫人のデヴィ夫人が日本人であることは誰もが知るところである。

歴史的にみると私が思っていた以上に日本とインドネシアの関係は深い。今回、ジャワ島、バリ島、ロンボク島を訪れるなどを知つた娘からインドネシアに関する四冊の本が送られてきた。ただ観光地を旅するだけでなく、インドネシアの実態を知つて旅するようになります。

私は子供のころ、二つの島にあこがれを抱いていた。一つは戦勝

イアニア共和国は西半島からラ島、スマトラ島、ニギニア島、東ティモール、オーストラリア、パプアニューギニア、バブエニア、ハワイ、ハワイアンにひかれた。

島とは対照的に東西に幅五千キロ以上の海上に大小一万八千を超える島々からなる。アメリカ合衆国本土よりも東西に長い国である。

人口は二億三千万人余で、中国、印度、アメリカに次いで第四位。その半数以上の人々が首都ジャカルタがあるジャワ島に住んでいる。

陸地面積は世界で十六番目の広さだが、一萬八千を超える島があるので、領海面積は実

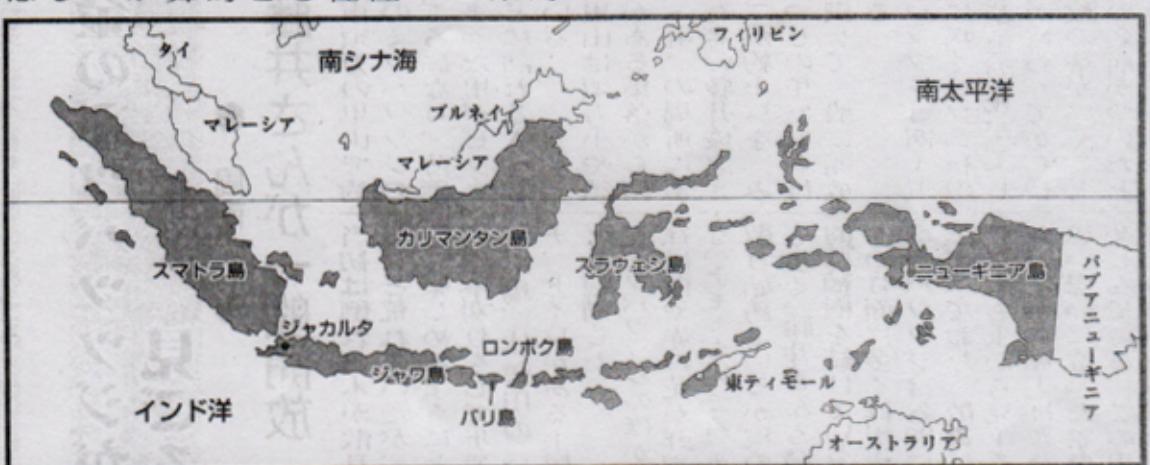
に広大である。世界の陸地の資源は

カの領土で、太平洋の真ん中に浮かぶ、ハワイ、西海岸に開放感がある。アロハシャツやハワイアンにひかれた。

島の間に位置していた。インドネシア共和国は西半島からラ島、スマトラ島、ニギニア島、東ティモール、オーストラリア、パプアニューギニア、バブエニア、ハワイ、ハワイアンにひかれた。

島の間に位置していた。インドネシア共和国は西半島からラ島、スマトラ島、ニギニア島、東ティモール、オーストラリア、パプアニューギニア、バブエニア、ハワイ、ハワイアンにひかれた。

娘から送られてきた4冊の本



枯渴しつつあり、二十世紀は海底資源が注目されているが、インドネシアは人口だけでなく豊富な資源を持つ国だ。

娘から送られてきた佐藤百合著「経済大国インドネシア」(中公新書)によると、インドネシアは二十一世紀は豊富な人口と資源を武器にして中国、インドに続くアジア第三の経済大国になるとある。限りない可能性を持つ